

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 2月 9日

配布数 7

回収数 7

事業所名 アートチャイルドケアSEDSスクール朝霞駅前

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	割合（％）				工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
						はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答		
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1	1	0	71.4%	14.3%	14.3%	0.0%	・一枠4人の利用児がいる時は、部屋や廊下がせまいと感じる。最近の後半で2名ずつ部屋を分けてスペースを確保している。 ・来所するお子様それぞれに合わせた同時利用人数を検討する。	・廊下や玄関の混雑を解消するため、個室活動から開始される方には保護者様と一緒にそれぞれの個室で待機して頂くようにする。
	2 職員の配置数は適切であるか	2	4	1	0	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	・職員の欠員が出たとき、残りの職員でセッションをまわすことが難しい。ペアやグループで対応しているが職員数に余裕があると良いと感じる。 ・正式な指導員の人数が不足している。 ・運営するだけであれば人数は適切であると思うが、セッション数や相談、外部への訪問などの手厚い対応や人材育成などを行うことを考えると適切とは言えないと思う。 ・日によって（職員のお休みなど）職員数が足りない日があるものの、協力体制を築くことが出来ている。	・予定の変更に対応できるように職員間で日頃からご利用者様の情報共有を行う。また、臨機応変に対応できるように努める。 ・外部との連携や訪問等の業務は計画的に実施するよう努める。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切にされているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
業務 改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	5	0	0	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	・各自が担っている仕事をこなすのに精一杯である。業務の見直し、改善案などを度々全体で話し合っているが、抜本的な改善にはつながっていない。 ・セッションやそのほかの業務により、ミーティング等の情報共有の時間が確保できない時がある。 ・全体カンファレンスの場だと、本部やスクール長に意見出来る指導員と、遠慮している指導員がいる。運営管理に携わる職員側から各指導員の抱えている業務量を把握するための歩み寄りも必要か（定期個別面談など） ・何かしらの自己犠牲がないと回らない業務量だと感じる。	・各自の翌週の計画をオープンにして、スクール内で協力体制を整える。 ・今年度を振り返り、来年度のスクールの年間計画を立てて各自の業務を調整する。 ・必要に応じて面談の時間を設ける。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・事業所内アンケートの回収率を高めていきたい。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	3	0	0	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	・社内研修の機会はあるが、業務の合間に各自観る形になっている。セッションのない枠を確保し、まとまった時間で視聴したり、職員同士で話し合う時間がほしい。 ・社内で実施しているオンライン上での選択式研修の内容が充実しているが、勤務時間内の受講は困難だ。 ・他スクールの職員と事例を共有する機会があるも日々の業務で精一杯、中には勤務時間内に研修動画を視聴している職員もいるが、その時間にできた業務を残業している、業務時間内の両立が難しい。	・各自ゆとりをもって計画的に研修時間が確保できるように申し出る。 ・スクール全体で業務の効率化を図る。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・K式検査、KIDSなどを活用しているが、アセスメントに落とし込むまでの十分な職員間の話し合いの時間をもっと持てる時間の余裕が必要だと感じる。	・契約日にお渡しするプロフィールシートなどの書類を、初回のご利用日までに受け取ってケース会議を開催するよう工夫する。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・KIDS、JSI-R、K式など ・職員間で各種発達検査の情報を共有分析している。	
	11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・お子様の特性によっては、支援方法により具体性を持たせた方がよいケースもある。 ・個別プログラムに半年目標を記載し、都度職員が目を通せる環境と整えている。	
	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・心がけているが、忙しさのあまり、同じ内容を複数の利用時に行うことが多くなっているのを改善したい。 ・カンファレンスでも個別支援計画を踏まえた意見交換が必要と感じる。	・同じ活動でもお子さまの発達段階によって支援方法や目標、ねらいがあることを保護者様にご理解いただくよう努める。 ・日々のカンファレンスでケース会議や支援計画会議を行い、意見交換や情報共有に努める。
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・夏祭り、秋のほっば遊びなど行事ものはチームとして行っているが、それ以外は個人の判断になっている。	・日々の情報共有の上で各自に必要な療育を行う事を理解する。
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・今年度は季節のイベントを定期的実施できた。	
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・一人の支援計画にセッションに関わる全ての職員が目を通している。	・締め切りを設けて事前に回覧し、カンファレンスでケース会議を行う。
16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・誰がどこで何をするか事前に共有しており、互いにフォローすることができている。		
17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・振り返り（ミーティング）が出来るときもあれば、記録等残務処理に追われてできない時もある。 ・職員カンファレンスで各職員の気づきを共有出来ている。	・各自の業務量をオープンにし、協力を仰ぐ。	
18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・丁寧な検証、支援の改善のためにも記録は溜めずにとってきた。すでに記録できないときはどのような方法で何を目的としたのかポイントを日報に残す等、1回のセッションを風化させないように、職員間での連携が必要だ。	・事情で記録できない場合は次の担当職員に伝達する方法を工夫する。カンファレンスの議事録を確認する。	
19 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・会議に出席する前にカンファレンスで職員の意見を募っている。	
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・外部機関との連携に興味を持ち、参加しようとする職員が多い。	
	22	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・必要に応じて訪問や電話での情報共有、申し送り書の作成等を行っている。	
	23	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・必要に応じて申し送り書の作成等を行っている。	
	24	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・職員が自己研鑽の一環として埼玉県発達障害総合支援センター等の研修を適宜受講している。	
	25	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	3	3	0	14.3%	42.9%	42.9%	0.0%	・協議会などの会議は参加したことないが、他施設を交えた情報共有会議に参加したことあり。 ・年度はじめなどに地域の会議開催状況などを調べ参加できるようにスケジュールを調整したい。	
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・発達検査を受けていても障害受容に至らない場合もあり、課題が見えていない保護者さんもいる。どのように就学に向けてアプローチしていくか悩みます。 ・共通理解を深めているよう引き続きお話ししていきたい。	・お子様主体の姿勢を念頭に置いて保護者様の支援を行う。
保護者への説明責任等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・法改正に伴う変更事項などが生じた際は引き続き丁寧に説明していきたい。	
	28	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・児童発達支援管理責任者がその職務を遂行している。	
	29	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・セッション後の振り返りのみならず、事業所内相談支援も教多く実施している。	
	30	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・個別にお時間を頂きスクール全体でどのように対応したらお子様、保護者様のご要望をかなえることができるかを議論し、ご提案している。	
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・コドモンや掲示物の内容を定期的に更新している。	
	32	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・職員一人ひとりが留意しているものの、イレギュラーな状況が生じたときにミスが生じやすくなっている。ダブルチェック体制を強化していきたい。	・互いに遠慮せず協力する。
	33	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・プログラム表で用いる写真カードは一部補修が必要か。	・必要に応じて補修及び整備を行う。
非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・不審者対応訓練も併せて実施したい。	・防犯対策グッズを常備している。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・職員間のみならず子供や保護者と一緒に避難訓練を行った。	
	36	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5	1	0	1	71.4%	14.3%	0.0%	14.3%	・一部の子について、把握していないので要確認（個職員として、スクールとしては把握している。）	
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・下記の事例を見返しやすくと未然に事故を防ぎやすくなるか	・これまでのヒヤリハットの事例を見やすくファイリングする。ケースごとに分類し、同じミスを繰り返さないよう努める。
38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・職員自身のスキル向上ならびにお子様の尊厳をまもるため、不適切支援についても話し合いの場を持ちたい。	・事例検討会を行う。	